

学科YouTube講座

1. 講座の構成と工程

2023年11月現在の学科YouTube講座は、下記6項目での構成となります(各項目の工程は下記参照)。
 本講座は、2024年1月からほぼ毎日、1項目ずつアップします。一度、YouTubeとして公開し、その後、後に会員講座内で一覧表として再アップします。また、紙ベースで打出して学習できるように、PDFも一緒に掲載します。
 2023年の問題および解答は、2024年1月から下記に示す通り順次アップする予定です。

- (1) 学科共通事項のYouTube講座 ⇒適宜アップ
- (2) I 計画の項目別YouTube講座 ⇒2024年1月にR5組込アップ予定
- (3) II 設備の項目別YouTube講座 ⇒2024年2月にR5組込アップ予定
- (4) III 法規の項目別YouTube講座 ⇒2024年3月にR5組込アップ予定
- (5) IV 構造の項目別YouTube講座 ⇒2024年4月にR5組込アップ予定
- (6) V 施工の項目別YouTube講座 ⇒2024年5月にR5組込アップ予定

2. 講座の概要

本講座は、できる限り分かりやすい図や表などを組込ながら資料作りをしています。その図は、著作権にかからないよう手書き等で書いていることから、綺麗な図ではありません。下記に参考として、学科 I 計画の「3.西洋史(一部)」の内容を示します。

1級学科R3組込解説【I 計画 3.西洋史】2021年12月22日

表1 I 計画の項目別一覧表(平成14年～令和3年)

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	
西洋史																												

建築資格研究会: www.kenchiku-shikaku.net

このYouTubeは、見るだけで、今年の学科試験に合格できたといっ頂けるように全力を尽くします。

ヴォルムス大聖堂

ヴォルムス大聖堂は、東西両端にアプスを対置させた二重内陣と身廊の両側に側廊を設けたバシリカ形式で構成され、東西の内陣と交差部に六つの塔をもつロマネスク様式の建築物である。

(3) 建築と様式

建築図から様式の違いを探す問題である

建築(図有)	建築様式
ゴシック建築	フライングバットレス
ルネサンス建築	二重殻のドーム
初期キリスト教建築	柱廊付バシリカ形式
ローマ建築	コリント式オーダー
ビザンチン建築	ペンデンティヴドーム

(3) 建築と様式について説明します。
 この問題は、建築図から建築様式の違いを探す問題です。
 以下は、すべて正解ですが、この中の建築様式を変えてものが出題されていません。
 フライングバットレスはゴシック建築、二重殻のドームはルネサンス建築、柱廊付バシリカ形式は初期キリスト教建築、コリント式オーダーはローマ建築、ペンデンティヴドームはビザンチン建築です。
 以下、この図を示します。

西洋史の出題傾向

西洋史の出題傾向は大きく3パターン

- (1) 建物と特徴 ⇒2回以上の出題建物を抽出
- (2) 建物と人名 ⇒一覧表にした(応用編有)
- (3) 建築と様式 ⇒建築図を見て様式を当てる

サヴォア邸

サヴォア邸は、ル・コルビュジェによって設計された住宅で、「近代建築の五原則」を作品として体現した空間構成が特徴である。

初期キリスト教建築

建築様式は、柱廊付バシリカ形式である。

この図の建築様式は、柱廊付バシリカ形式であり、初期キリスト教建築です。

(1) 建物と特徴

過去20年間で2回以上出題の建物抽出

- ① ピサ大聖堂
- ② ヴォルムス大聖堂
- ③ コルドバの大モスク
- ④ サヴォア邸
- ⑤ タッセル邸
- ⑥ リンゴット工場再開発
- ⑦ テイト・モダン
- ⑧ オルセー美術館

順番に解説

テイト・モダン

テイト・モダンは、煉瓦造の火力発電所を、エントランスホールを兼ねた5層吹抜けの巨大な展示空間をもつ美術館に転用したものである。

ビザンチン建築

建築様式は、ペンデンティヴドームである。

この図の建築様式は、ペンデンティヴドームであり、ビザンチン建築です。